

各地で行われたイベント&話題を紹介するコーナーです。

研究成果を発表し地元貢献

県立大が公開卒論発表会



最優秀賞の海老名さんの発表

広島県立大学の公開卒論発表会が2月28日、JA庄原会議室で行われました。

これは、地元に着目した研究を進める生物資源管理学科が、研究成果を広く発表し、地域の課題解決に貢献しようと企画。論文を聞こうと地域住民など約70人が参加しました。

学内から選抜された10人は、地産地消や高齢者福祉、環境教育などをテーマに、研究データをスクリーンに映し出しながら分析結果を発表しました。また、発表者以外の学生もポスターで研究成果を発表しました。

参加者の投票による審査の結果、食彩館ゆめさくらとヒバゴン生鮮便江波店の直売所を事例に、課題と改善策を発表した海老名香理さんに最優秀賞が贈られました。

審査員を代表し、(株)庄原農林振興公社の池田怜社長は「貴重な研究データが示され、分析結果も感銘を受けるものが多かった。さらに自分を磨き、社会人の模範となって活躍してほしい」と講評しました。

1年間の力作躍る写真展

庄原格致高校写真部が発表

庄原格致高校写真部の作品展「日進月歩」が2月28日から3月3日の5日間、田園文化センターで開催されました。

部員14人らが、この1年間に撮影した作品56点を展示。

昨夏の全国高校写真選手権で準優勝に輝いた作品「出会っていいな」のほか、月刊カメラマン年度グランプリに輝いた作品「ブル坊主」など、各種大会での入賞作品も多く並べられました。

庄原格致高校写真部のレベルの高さにファンも多く、大竹市の大知洋一朗さんは「写真雑誌にも多く掲載され、実際に作品を見てみたいと思って来た。人物を中心に撮影された作品が多く、生き生きとした表情に感動した」と話していました。

部員らは、「来場者の感想を読んで、これを糧として来年度も前進していきたい」と話していました。



生き生きとした作品が並ぶ

オルゴールの音色を楽しむ

橋本勇夫さんがコンサート

3月8日、比和文化会館で、スプリングコンサートが開催され、70人が心地よいオルゴールの音色を楽しみました。

日本でただ一人のオルゴール作曲家、橋本勇夫さんらによるオルゴール、ギター、マンドリンの合奏で、「禁じられた遊び」「春の小川」や子どもたちに人気の「アンパンマン」「さんぽ」、橋本さんのオリジナル曲「ふるさとの夕暮れ」などが演奏されました。

オルゴールのやさしい音色とギター、マンドリンの心に響く音色に、会場は温かい雰囲気になりました。参加者は、「どの曲も素晴らしい演奏で、オルゴールの音色にいやされた」と話していました。



ギターを弾く橋本さん(中央)

思い出深い学び舎に別れ

市内9小学校で休校式

3月21日から30日まで、市内の小学校9校で休校式があり、統合で消える学校を地域ぐるみで惜しみました。

水後小学校では3月21日、最後の卒業式の後、地元住民らが出席して休校式。

滝口季彦市長は「学校再配置は新たな出発として、子どもの健やかな成長と教育環境の充実に努めたい」とあいさつ。児童19人が先輩から受け継がれてきた水後太鼓を披露し、最後は出席者全員で校歌を合唱しました。式典後、校庭に文集や写真などを詰めたタイムカプセルを埋め、開封する20年後の再会を誓いました。



タイムカプセルにメッセージを書き込む



児童が別れのあいさつ

比和の森脇小学校では3月23日、休校式と記念行事が行われました。

辰川五朗教育長は「この学校で学んだことを誇りに思い、自信を持って勉学に励んでほしい」と最後の児童をねぎらいました。児童は一人一人、「森脇小学校ありがとう」などと、思い出深い学び舎に別れのあいさつをしました。式典後、記念碑の除幕式や記念行事が行われ、参加者は思い出を語りながら、最後の姿を胸に刻んでいました。

楽しいトークに花が咲く

上野隆紘さんと巡る節分草祭

3月2日、総領町の道の駅リストアステーションで、節分草祭が開催されました。

今年は寒い日が続き、節分草の開花が遅れていましたが、この日は久しぶりの晴天となり、市内外から多くの方が来場しました。

リストアステーションの光のドームでは、RCCラジオでおなじみの上野隆紘さんのトークショーが行われ、楽しいおしゃべりに笑顔が広がりました。また、午後からは上野さんも参加して節分草自生地巡りが行われ、来場者はボランティアガイド花守りの伊藤之敏さんから節分草などの説明を受けながら3個所の自生地を散策し、春の息吹を感じていました。



上野隆紘さん(手前中央)と一緒に節分草を見学

音楽で連携を深め、安全なまちづくり

おぬかミュージック・フェスティバル

音楽を通じて、地域・学校・保育所の連携を深め、交通安全・防犯への意識をより一層高めようと、「交通安全・防犯 おぬかミュージック・フェスティバル」(小奴可公民館主催)が3月6日、東城町の小奴可研修センターで開催されました。

小奴可・内堀地区の児童・園児115人が童謡など5曲を合唱。また、庄原警察署東城交番の警察官と小奴可小学校の児童による、登下校時の不審者への対応をテーマにした防犯劇に、会場から大きな拍手が送られました。

この日は広島県警察音楽隊28人も参加。アニメソングや刑事ドラマメドレーなど9曲を披露。防犯合言葉を基にした曲「いかのおすし?」の演奏に合わせて、子どもたちも元気いっぱいに歌いました。

音楽隊の隊員は「県警では交通安全・防犯活動に積極的に取り組んでいますが、警察だけではできません。市民の皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思っておりますのでご協力ください」と呼びかけていました。



県警音楽隊の演奏に合わせて歌う子どもたち

温泉や芸能、屋台を楽しむ

すずらんの湯「温泉まつり」



芸能サークルのステージを楽しむ来場者

3月23日、源泉掛け流しの「ひばごん郷温泉すずらんの湯」で、春の温泉まつりが開催されました。

ステージでは、地元西城町の芸能サークルをはじめ、比婆荒神神楽こども塾(東城町)や、三良坂ひょっとこ踊り(三次市)などが熱演。レストランイベントでは、地元特産品を販売する屋台でにぎわいました。

来館者は、「温泉や多彩な催しで、心と体のリフレッシュができた」と喜んでいました。

命の尊さ・他者との共生を学ぶ

西城人権講演会を開催

西城人権講演会を3月4日、西城公民館で開催しました。

「人がひらかれていくとき」と題して、庄原市教育委員の寺川大雅さんが講演し、約80人が参加しました。

寺川さんは、マザー・テレサの言葉「愛の反対は憎しみと思うかもしれませんが、実は無関心なのです」や、お釈迦さんの弟子の話から「おろかであることが問題ではなく、気付かないことが問題なのです」などを紹介。「他者との関わりの中で、価値観を問い直し、自分自身に気付き目覚めていくことが、人がひらかれていくことにつながる」と語りました。

参加者は「命の尊さ、他者との共生・共感の大切さなどを実感できた」と話していました。



寺川さんの講演を聞く参加者

地域への思いと貢献に感謝

野原建一教授を囲む会



野原教授の地域連携講演会

3月31日付けで広島県立大学経営学部を退職する野原建一教授を「囲む会」が3月15日、庄原グランドホテルで開催されました。

これは、市長総合計画審議会会長など、市の公職を歴任した野原教授に感謝の意を込め、滝口市長をはじめ地域の有志が送別会として企画。

会に先立ち、野原教授による講演会「たたら製鉄業の研究と地域活性化」が庄原市ふれあいセンターで行われ、約150人が参加。たたら製鉄業の果たした役割や地域発展との関連などについて講演しました。

その後行われた「囲む会」には約120人が参加。あいさつやアトラクションで、野原教授へ感謝の気持ちを伝えました。野原教授は「長い時間を庄原で過ごしたが、嫌な思いをしたことは一度もなかった。温かく見守ってくださった庄原の皆さんに感謝しています」とあいさつしました。

日本文化「茶道」で世代間交流

東城保育所が「ひな祭り会」

3月3日、東城保育所でひな祭り会のお茶席が設けられ、東寿園のデイサービス利用者をはじめ地域住民が、園児のたてたお茶を楽しみました。

東城保育所では2年前から茶道に取り組み、この日は講師の寺岡和子さんの指導のもと、年長児22人がお手前を披露。普段は、にぎやかに遊んでいる園児も、浴衣やはかまを着て気持ちが引き締まると、背筋を伸ばし、自分でたてたお茶やお菓子を選んでいました。

寺岡さんは「小さいときに一度でも日本の伝統文化茶道に触れてほしい。茶道を特別なこととして身構えるのではなく、純粹に美味しいお茶をいただいてほしい」と話していました。

伝統とアイデアで創作

高原の家七塚「ひなまつり」

昔の人の知恵と、参加者のアイデアを融合した楽しいひなまつりが3月2日、高原の家七塚で開催され、親子連れなど22人が参加しました。

豪華なひな人形が飾られた会場で、参加者は柳の枝に紅白のもちをつけた「もち花づくり」や、色紙で「お内裏様とお雛様づくり」、彩りよく飾る「押し寿司づくり」を体験し、手作りのひなまつりを楽しみました。

参加した高小学校4年の作田遥さんと松井淑蓮さんは「もち花が上手にでき、一日早いひなまつりを楽しめた。手作りした作品を家に持ち帰って飾りたい」と話していました。



もち花づくりを楽しむ子どもたち



高齢者が見つめる中、真剣な表情でお茶をたてる園児

熱血警官に住民団体が感謝状

佐藤警部の功績を称える

高野町の各種団体が3月14日、高野支所で今年3月に退職する佐藤賢警部に感謝状を贈呈しました。

贈呈したのは高野町自治振興区連絡協議会、庄原市交通安全協会高野分会、庄原市高野地区老人クラブ連合会、ボランティアグループよろずクラブの4団体。地域の防犯・交通指導をはじめ、高齢者家庭などへの巡回、各地域での講話、不法放置自動車の撤去など、佐藤警部の功績を称えました。

佐藤警部は、昭和48年8月から昭和49年8月まで高野駐在所に勤務。定年を高野町で迎えたいと希望して、平成17年から3年間、高野駐在所で再び勤務しました。

感謝状を手にした佐藤警部は「高野の人の心がわたしの行動の原動力になっています。こうした活動を今後も続けていきたい」と話していました。



4団体から表彰を受ける佐藤警部

運動不足を解消し健康づくり

室内で簡単にできる体操講座

3月12日、比和文化会館で、「かんたん体操1・2・3」を開催しました。

この講座は、運動不足になりがちな冬場でも、室内で有酸素運動やストレッチをして体を動かそうと企画し、40人が参加しました。

健康運動指導士の吉田由香里さんを講師に迎え、軽快なリズムにのったエアロピクスや、いすを使ったストレッチ、風呂のマットを利用した腹筋や足腰の強化運動など、簡単に誰にでもできる運動を実践しました。

参加者は、「体を動かして気持ち良かった。家でも簡単にできる運動で、とても参考になった」と話していました。



ストレッチをする参加者

火災ゼロのまちを目指してPR

口和方面隊が火災予防運動



チラシを配布して防火を訴える

3月1日から7日までの「春の火災予防運動」に併せて、口和町で恒例の「春の防火デー」が3月2日に行われました。

庄原市消防団口和方面隊の団員らは、消防積載車から市民に向けて防火を訴えるパレードを行ったり、各戸をまわってチラシを配ったりして、いざというときの通報の協力や住宅用火災警報器の設置を訴えました。

口和方面隊では、春と秋の全国火災予防運動に併せて、防火活動を続けています。

山根道得方面隊長は、「まずは住民の皆さんに防火のお願いをすることが、無火災への第一歩。これからも地域の防災に力を注ぎたい」と決意を述べました。

“実験” ミニ住宅で火災警報器を周知

庄原消防署高野出張所が防火教室

庄原消防署高野出張所職員が2月14日、高野福祉センターでデイサービスや診療所に来たお年寄りを中心に防火教室を開催しました。

田部洋二消防士長が廃材などを利用して作成したミニ住宅を使って実験。熱や煙を発生させ、火災警報器の音声やブザーを実際に鳴らした後、住宅火災による死者が増えていることや、犠牲者の6割以上が就寝中の逃げ遅れで死亡していることなどを説明し、火災警報器の設置を呼びかけました。

参加者は「ミニ住宅の実験で、すばやく避難することの大切さが分かり、火災警報器の設置が必要だと思った」と話していました。



防火教室で火災警報器を説明

防犯活動などが高い評価

東城交番が全国ベスト10

庄原警察署東城交番は、犯罪抑止に大きな実績をあげたとして全国で10指に入る交番の一つに選ばれました。交番の部では、広島県から初の選出となる快挙。

東城交番は、東城スクールパトロール隊の「声かけ」活動、学校や老人クラブなどでの「交通事故防止・犯罪被害防止」を呼びかける講話、「交通安全」「防犯」の文字を入れたイルミネーションとコンサートの開催など、地域住民と共に防犯活動に取り組んだほか、犯罪発生時の素早い対応や検挙率の向上などが高く評価されました。

2月26日、警察庁で行われた第5回全国優秀地域警察官大会では、その活動が発表されました。

東城交番の大江良明警部は「市民の防犯意識の高さが評価された。今後も、被害に遭わないよう意識づけや地域のつながりを大事にしたい」と話していました。



交通安全教室など地道な活動を続ける東城交番



全国レベルの大会出場者、全国・県レベルの大会、市が共催する各種大会などの上位入賞者を掲載します。(敬称略)

該当する方の情報は企画課広報統計係 (☎0824-73-1159) までお寄せください

世界大会

スノーボードジュニア
世界選手権大会出場

(3月16日～23日・イタリア)
原田 大禎

(登別大谷高3年・口和町)

全国大会

全国高校バレーボール
選抜優勝大会出場

(3月20日～26日・国立代々木体育館)
小林 奈央

(進徳高2年・戸郷町)

田代 景子
(進徳高2年・川手町)

県大会など

日本短歌大会in広島

最優秀賞 藤田 碧 (口北小4年)

優秀賞 麻尾しおり (口北小6年)

池上 留以 (口北小5年)

久保 健二 (口北小5年)

谷川 沙樹 (口北小5年)

桑野 天空 (口北小4年)

田原 台基 (口北小4年)

深井 理志 (口北小4年)

福蔵 愛稀 (口北小4年)

大歳 貫太 (口北小4年)

桑野カムイ (口北小2年)

深井美結莉 (口北小2年)

福蔵 愛佳 (口北小1年)

雪合戦ひろしま

2008 in 高野

フォトコンテスト

金賞 濱田亜珠沙 (比和町)

銀賞 寺岡 沙織 (東本町)

特別賞 横山 千歳 (西本町)

田中 健児 (東城町)

池上 友理 (口和町)